

【1 分解説】健康日本 21(第三次)とは？

総合調査部 マクロ環境調査グループ 研究理事 谷口 智明

健康日本 21 とは、健康増進法に基づいて策定される「国民の健康増進の総合的な推進を図るための基本的方針」のことで、正式には「二十一世紀における国民健康づくり運動（健康日本 21）」といます。2000 年度より開始され、2024 年度からは、2035 年度までを計画期間とする健康日本 21（第三次）が展開されます。

次期計画では「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」をビジョンとし、「誰一人取り残さない健康づくりの展開（Inclusion）」「より実効性をもつ取組の推進（Implementation）」を図ることとされました。そして、ビジョン実現のための基本的方向は、①健康寿命の延伸・健康格差の縮小、②個人の行動と健康状態の改善、③社会環境の質の向上、④ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりです。更に、こうした方向に基づき、50 項目程度の具体的目標を設定し、中間及び最終評価も行われます。

岸田政権は「新しい資本主義」実現に向けて、人への投資を重視しており、私たち一人ひとりの健康は大切な要素といえます。医療 DX の推進や新興感染症も見据えた生活様式への対応等も踏まえ、健康的な生活習慣を身につけ、健康的な環境で生活できるように、多様な主体の連携協働によって推進することが求められます。

関連レポート

・「脱・メタボがもたらす医療費抑制のインパクト～健康増進・疾病予防に向けた行動変容で年間 1 兆円超の可能性～」(2023 年 8 月) <https://www.dlri.co.jp/report/ld/271188.html>